

Topics

北海道卓球選手権大会ホープスの部5位入賞 剣小6年 秦 彩華 さん



6月4日、小学6年生の秦彩華さんが卓球全国大会出場の報告をするため、役場を訪れました。

5月16日から17日、千歳市で開催された北海道選手権大会ホープスの部女子シングルスで5位入賞を果たし、7月24日から26日、兵庫県神戸市で行われる全日本選手権大会への出場が決定しました。

秦さんは「人数が多くて緊張したけれど、実力を発揮できたと思います。」と北海道選手権大会を振り返り、「今まで練習してきたことができるよう頑張りたい」と全日本選手権大会に向けて抱負を話してくれました。

おめでとう!



5月28日にりんどう交流館においてキノコ栽培・植菌体験会が行われました。

シイタケの原木栽培となめこのおが菌によるサンドイッチ栽培について講習も行われ、士別市と剣淵町からキノコ栽培に興味のある方が集まり、熱心に耳を傾けていました。



5月28日、役場庁舎前花壇において花壇造成が行われました。

これは、剣淵高校生による奉仕活動「町内花壇造成」で、1年生から3年生で作られたグループは、役場や絵本の館などに自分たちが種から大事に育てた色鮮やかな花を花壇に飾っていました。



6月8日、応接室において新規就農者奨励金の贈呈が行われました。

新規就農者は西原町の梶川朔也さん(写真左から2人目)と元町生出透さん(写真右から2人目)の2人です。



6月12日、教育長室において全国市町村教育委員会連合会表彰の伝達が行われました。

西原町の高橋幹雄さんが教育委員として平成2年10月1日から24年間、教育委員長として平成20年10月1日からの6年間、教育の振興に寄与した功績が認められ表彰されました。

Topics



6月15日、剣淵町交通安全協会の事業所訪問が実施されました。

剣淵町交通安全協会は初夏の交通安全運動に連動して町内の12事業所を訪問し、交通安全旗とパンフレットを配布し、交通事故撲滅の取り組みを行っていました。



5月21日、桜岡キャンプ場でエゾヤマザクラ20本の植樹が行われました。

植樹したのは剣淵ライオンズクラブで、社会奉仕の一環として10年ほど育った桜の苗木を植樹しました。苗木は大人の身長くらいあり、早ければ来年にも花が咲くそうです。



5月27日、町長室において2015年度教科書供給功労者文部科学大臣表彰の報告がありました。

45年間教科書供給に従事された功績が認められた仲町の芳賀書店の芳賀修さんは、「教科書無償供給開始50年の節目にこのような賞を受賞でき大変うれしく思います」と話されました。

5月31日、地域おこし協力隊の宮川則秀さんが一身上の都合により退職されました。

6月17日、町長室において東町の皆川遼さん、和佳奈さんが後継者結婚祝い金の贈呈を受けました。

オオマリコケムシってなんだろっ

広報6月号の町づくり懇談会結果にて掲載したオオマリコケムシについて、町民からお問い合わせがありましたので掲載します。

原産地は北アメリカ東部で、日本では昭和47年に山梨県の河口湖で発見されて以来、どんどんその生息域を拡大させ、現在では日本各地の湖沼で普通に見られるようになりました。また、水鳥などを介して日本各地に分布を広げていると言われています。

池や沼などの淡水域に棲み、小さな個体が集まって、水中のプランクトンを盛んに摂取しながら寒天質を分泌して巨大な群体塊を形成します。カエルの卵の袋に似た見た目から、古くから毒性がないか議論されてきました。

コケムシを研究している東京大学大気海洋研究所の広瀬雅人特任助教に確認したところ、自然界でコケムシの存在が直接的原因となつてほかの生物が死滅したという現象はこれまで報告されておらず、また、オオマリコケムシの存在が稲や農作物に悪影響を与えることもほとんどないと考えられています。現時点で考えられる問題は、用水路に付着したオオマリコケムシの群体塊がはがれ落ちて流れることにより、排水溝や取水口を詰まらせる可能性があります。

オオマリコケムシは冬期には群体塊が死滅しますが、休芽と呼ばれる種のようなもので越冬するため、翌年も温度や諸条件によっては成長することがあります。